

質問 電源三法交付金や幌延深地層研究センターの固定資産税で貯えた基金50億円の使い道は。

町長 一般会計の基金については、令和2年度末時点で54億8千万円保有しているが、様々な分野で運用をしており、これからも魅力ある持続可能なまちづくりを念頭におき、適切に基金を運用していく。

質問 一つの案として問寒別に天文台を造る構想がある。知駒岳や平地もあり、北大演習林には学術的に優秀な方や、深地層研究センターにも多くの博士号を持つ方もいる。研究機関と連携していくべきだと思いが。 **町長** 夢の構想については、有志が集って同意を得ながら、議会に協議していただき、予算編成できる形になればありがたい。

また、10年後には町施設の建替えや大改修に25億円以上かかるシミュレーションもされている。そのコストについての認識を共有しながら、まちのために何ができるか議論していきたい。

第3回 まちづくり常任委員会

6月2日

○調査事項（抜粋）

▽幌延町国保診療所感染防止緊急対策事業の概要

発熱外来用診察室を増設し、発熱患者と一般外来患者との接触が避けられるようにする。

◎発熱外来患者に対する待合ロビーがないが、渡り廊下に多少の椅子を置いて使えないのか。

◎最低限の椅子等は用意するが、多数の患者が廊下で待機する状態は避けたい。

◎ウイルス飛散防止のため診察室の気圧を下げるような予定はあるのか。

◎院長とも相談したが、一般換気で十分ということ、陰圧にはしない。

▽地域公共交通の取り組み状況

制度の名称は「幌延町高齢者等交通費助成事業」。

市街地区及び幌延周辺集落において、日常生活の移動が困難な高齢者にハイヤ

運賃区分	搭乗区間		自己負担額
	市街地まで	市街地から	
A 初乗り620円	幌延市街地	-	100円
B 1,000円未満	字幌延、上幌延	-	200円
C 2,000円未満	字幌延、上幌延、北進	トナカイ牧場	500円
D 3,000円未満	字幌延、上幌延、北進、開進、下沼	名山台	700円
E 4,000円未満	字幌延、上幌延、開進、下沼	ビジターセンター	1,000円
F 5,000円未満	開進	雄信内駅	1,300円
G 5,000円以上	雄興	オトンルイ風力	1,500円



ー運賃を助成することで、日常の移動手段を補完し、暮らしやすく住みやすいまちづくりを進めようとするもの。

制度の対象者は、本町に住居を有する70歳以上の高齢者。障がい者手帳第1種を有する方、自動車運転免許証を返納された方、その他となる。ただし、施設に入居されている方は除く。

利用範囲は、幌延市街地区及びその周辺集落で、利用用途に限定はない。利用時間は、ハイヤー事業者の営業時間内とする。

利用券を付与した利用カードを交付するが、居住区や世帯構成により利用券の年間枚数を設定する。

現在準備中で10月に本格運行を予定している。

編集後記

今年の夏はどうなるのだろうか？

本編集後記随筆中である7月中旬、幌延町では日照りによる暑い日が続いているが、一方で静岡県において豪雨が発生し、土石流による災害等、痛ましい情報が届いている。

被災された方々には心からお見舞い申し上げるとともに、復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

幌延町においても、いつ何時、災害が発生しないとも限らない。備えあれば憂いなしとは言っても、備えていたとしても防ぎきれないことがあるのが自然災害である。3年前に発生した胆振東部地震における大規模停電で得た教訓を忘れずに、今後とも過ごしていきたいと感じる今日この頃である。

編集委員長 西澤 裕之
副編集委員長 無量谷 隆
編集委員 高橋 秀明
佐藤 忠志